

科 目 名		必修／選択	単位数	学 年	学科
書道 I		選択	2	1	普通科
科目の概要	漢字・仮名の書では、過去の筆跡（古典）を手本にして書き（臨書）、表現の基礎を学習します。、漢字仮名交じりの書では、漢字・仮名の書で学習した「臨書」や「鑑賞」を生かし、書の表現に自らの創意工夫を加え創作をします。また、それぞれの作品制作の過程において書の美を味わい、美がどのような要素で成り立っているのかということ进行分析する鑑賞をおこないます。				
教材名	教科書	書 I（光村図書）			
	副教材				
担当者		池田 守			
学習到達目標		①書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 ②書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 ③主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
学習方法		①書道の三分野「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」を確認し、理解する。 ②臨書・鑑賞・創作の学習を通して、自己の創造的な表現に生かすことを理解する。			
評価基準と評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
	評価方法	・ 作品	・ 作品 ・ 授業での取り組み	・ 授業に対する姿勢	
	A	表現するために必要な基本的筆づかい等の技能を習得している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができる。	主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組むことができる。	
	B	表現するために必要な基本的筆づかい等の技能を不十分ではあるが習得している。	不十分ながら書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができる。	不十分ながら表現及び鑑賞の創造的活動に取り組むことができる。	
	C	表現するために必要な基本的筆づかい等の技能を習得できていない。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができない。	主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組むことができない。	

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	オリエンテーション	- 書分野、歴史、表現、用具を知る - 書写と書道の違いを知る	2	
	漢字の書	書体の変遷、歴史を知る	2	
	篆刻	落款印の役割を理解し、氏名印(下の名前一字)を白文で刻す	2	印影提出
5	文字の造形を学ぶ〈楷書〉	- 唐の四大家に学ぶ楷書の基本(時代背景、用筆、字形の特徴など) 「九成宮醴泉銘」二字、四字作品 「顔氏家廟碑」二字、四字作品	1 6	清書提出
6		- 龍門造像記(世界文化遺産)(時代背景、用筆、字形の特徴など) 「牛橛造像記」四字作品	4	清書提出
7	文字の造形を学ぶ〈行書〉	- 行書の成立、特徴(時代背景、点画が曲線的・形や方向が変化・省略など) 「蘭亭序」四字作品 「争坐位文稿」四字作品 「風信帖」四字作品	1 4	清書提出
8				清書提出
9				清書提出
10	文字の造形を学ぶ〈草/隸/篆書〉	- 草/隸/篆書の成立、用筆、字形の特徴 「真草千字文」四字作品 「曹全碑」六字作品 「泰山刻石」四字作品	1 2	清書提出
11				清書提出
12	仮名の書	- 仮名の成立と種類 - 文字の造形、筆使い 「平仮名」いろは四十八字写し書き 「蓬莱切」全臨 「高野切第三種」一首	8	清書提出
1				清書提出
	漢字仮名交じりの書	- 漢字仮名交じりの書とは - 心に響く言葉を書く - 漢字、仮名の古典を用い仮名と調和させて書く。また、自由に仮名を造形し、漢字を調和させて書く。 「創作」好きな言葉を書く 「創作」下の名前を使つての創作	1 0	清書提出
2				清書提出
3				清書提出